

「大関候補一番手は西神門じゃないか？」と錦風親方が言うように、その地力は相当なもので、このまま1敗で行く公算が高く、初優勝の2文字がちらつき始めていいるのかも少し怖い。

前頭十三枚目の元小結剛勇山が気を吐いている。6勝1敗で迎えた八日目は麒麟王を左差しから寄り切ると、九日目は宇治家との1敗対決を制して優勝争いの先頭集団に残った。

おそらく十日目か千秋楽に西神門戦が組まれることだろう。もし、これに勝つようなことがあると奇跡が起こるかもしれない。

今場所の優勝争いはおそらく2敗まで。優勝圏内は大関大神楽、平幕の西神門、宇治家夢ノ花、剛勇山の5人。

果たして1敗組が優勝を決めるのか、あるいは決定戦にもつれこむのか？千秋楽は12月9日の開催予定。ご期待あれ！（錦風）

### 十両は西旭が一敗でトップ

一人全勝で快進撃を続けてきた西旭に土。七日目まで1敗だった蚕国と大石丸も星を落とし、2敗で角武蔵、逆馬山、大石丸の3人が追う展開に変わった。

このまま全勝優勝か、との勢いを見せてきた西旭に待ったをかけたのは新十両の逆馬山。ここまで、全て左差しから安定した取り口を見せてきた西旭。「やっぱりこの一番も西旭だろうね」という大方の予想に対し、「さかばやま」と声援と念を送る錦風親方。

立ち合いから西旭がいつものように左差しを狙うが、逆馬山もそうはさせじと応戦。互



西旭●(寄り切り)○逆馬山



剛勇山○(寄り切り)●宇治家

いながつぶり四つに組んだ体勢のまま、土俵を一周したところで先に左を差したのは何と逆馬山の方。その絶好の体勢を逃すまいと、すぐさま寄って出た逆馬山が西旭を引きずり下ろした。

同部屋の新十両を星一つ差で追う大石丸は、七日目まで2敗で元気な相撲を見せている角武蔵と対戦。五角の立ち合いから先に大石丸が差しにきたところ、上手を差し入れて押し返す角武蔵。大石丸が完全に差し切れないうち角武蔵が更へのど元を深く押し込んで決着がついた。次の九日目は柏陵山を破ってガツチリ2敗をキープした。大石丸も連敗はせず2敗を守った。

七日目に勝ち越しを決め、昇進に向け一つでも白星を稼いでおきたい蚕国は西の富士との一番。西の富士は今場所も好調を維持しており楽しみな取組となったが、うまく捌かれた蚕国が体重差を活かした蚕国が押し倒しに敗れた。

そして九日目は西旭。ここで負ければ優勝争いからも遠ざかってしまう。富士浪部屋としては、夏雄大以来の優勝の期待もかかっていただけに連敗は避けたかったところだが、西旭に寄り切られて3敗となつて優勝争いからは一歩後退。残り2日でも最低でもあと一つ白星を上乗せして7勝を上げておけば昇進も見えてくるだろう。



蚕国●(寄り切り)○西旭



蚕国●(下手捻り)○西富士

### 幕下は玉乱番奪なるか

このところすっかり十両に定着した感のあった吉備の里だが、2勝7敗と苦しい星勘定となっている。残留するには残り2日連勝するしかなくなった。（勝間田）

幕下四日目は4強が激突。最初に玉乱と風神丸が対戦。場所前優勝候補に推されていたおりの貫禄の取り口で玉乱に軍配。立ち合いかからサッと差を差し込むと向正面に一気に寄って勝負を決めた。風神丸は三日目の音柱に続いての春日根連破とはならず。

次に椿富士と千丈岳の一番。椿富士は十両に一場所で返り咲くために大事な一番。一方「風神丸が負けてしまった以上、千丈岳には千秋楽決戦に残ってくれ」とは磯ノ海親方と親だが、その期待も虚しく椿富士にあっさり寄り切られてしまった。

この結果、椿富士と玉乱の全勝対決となった。玉乱は先場所に続き千秋楽に優勝を賭けることができる。先場所の雪辱を晴らすことができるか。

東筆頭の茅ヶ崎が御嶽灘を破り勝ち越して十両昇進を決めた。風神丸と千丈岳の活躍がよい刺激になっているようだ。しかし、十両復帰を狙った磯燕と磯若、それに磯雷光が残念ながら負け越して明暗を分けた。



千丈岳●(寄り切り)○椿富士



玉乱○(押し倒し)●風神丸

ことになる。また、秋田勢では、付出の連子波が亀風を押し倒して3勝目。兄弟子を差し置いての勝ち越しは大したものだ。その千曲海と難波山は2勝2敗で千秋楽を迎えることとなる。親方の見守る土俵で見事勝ち越しなるか注目されるところだ。（山里）

### 三段目、序の口

三段目は勝錦と竜雲、序二段は伊勢ノ里、序の口は場地在が4連勝を果たした。

三段目では初の幕下昇進を目指す若今津と勝錦が対戦。若今津は勝てば幕下昇進がほぼ確定だったが、幕下経駿もある勝錦が立ち



若今津●(押し倒し)○勝錦



石神●(寄り切り)○竜雲



桃天龍●(寄り切り)○伊勢里



他力岳○(寄り切り)●他部屋

序の口は住之江部屋の場。最近の住之江部屋は石神井、石神と有望な新弟子を輩出しており、この場でも優勝候補の春日根部屋他力岳を倒して4戦全勝。住之江部屋と序二段優勝した紀乃國以来の育成会優勝といきたところだ。（鹿賀戸）